



TITLE:

地域研究統合情報センター要覧付録, 2016

AUTHOR(S):

CITATION:

地域研究統合情報センター要覧付録, 2016. 地域研究統合情報センター要覧付録 2016: [1]-[16]

ISSUE DATE:

2016

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/227211>

RIGHT:



2016

京都大学
地域研究
統合情報センター



□ Contents

1. 共同利用・共同研究

- 1-1 共同研究プロジェクト課題数の推移
- 1-2 共同研究プロジェクト課題

2. 出版物

3. データベース

4. 研究資料の所蔵

- 4-1 図書点数・内訳
- 4-2 京セラ文庫「英国議会資料（BPP）」
- 4-3 地図

5. シンポジウム・研究集会・ワークショップ

6. 国際交流

- 6-1 学術交流協定
- 6-2 外国人客員研究員

7. 外部資金（科学研究費補助金等）

8. 受賞

9. スタッフ一覧

- 9-1 スタッフ
- 9-2 スタッフ略歴

1. 共同利用・共同研究

1-1. 共同研究プロジェクト課題数の推移

2006 年度課題数	11	2012 年度課題数	27
2007 年度課題数	22	2013 年度課題数	39
2008 年度課題数	23	2014 年度課題数	40
2009 年度課題数	18	2015 年度課題数	25
2010 年度課題数	29	2016 年度課題数	9
2011 年度課題数	31		

1-2. 共同研究プロジェクト課題

* 統括班 ** 複合共同研究ユニット

2010 年度以降の採択課題	研究期間 (年度)	2011	2012	2013	2014	2015	2016
〈地域〉を測量（はか）る：21 世紀の「地域」像 *	2010-2015	5	3	3	3	3	
包摂と排除から見る地域 **	2010-2011	6					
学校のなかの「他者」：南アジアの教育における包摂と排除	2010-2011	9					
「必要不可欠なアウトサイダー」からみる新たな地域像	2010-2011	10					
ヨーロッパにおける複合的国家の歴史的展開と現状比較	2010-2011	7					
大衆文化のグローバル化に見る包摂と排除の諸相：マレーシア映画を事例として	2010-2011	6					
新自由主義の浸透と社会への影響に関する地域間比較研究 **	2010-2012	3	5				
中東欧・ロシアにおける新自由主義的政策の展開とその帰結	2010-2011	4					
中東地域における経済自由化と統治メカニズムの頑健性に関する比較研究	2010-2011	15					
ラテンアメリカにおける新自由主義の浸透と政治変動	2010-2011	12					
市場経済移行期のラオス農村金融市場の形成：東北タイ、ベトナム、日本の経験との比較	2012		5				
南アジアの教育における新自由主義：私事化・市場化・国際化の地域間比較に向けて	2012		10				
中東地域における経済自由化政策をめぐる受容と抵抗：比較政治研究	2012		16				
中東欧・ロシアにおける新自由主義的政策の理念と実態	2012		5				
新自由主義期ラテンアメリカにおける政策的位相の比較研究	2012		13				
自然と人の相互作用からみた歴史的地域の生成 **	2010-2012	27	6				
まつたけ (<i>Tricholoma spp.</i>) の生産と流通・食文化をめぐる相関型地域研究：アジア・北米から中東・地中海地域までを視野に入れて	2010-2011	6					
東南アジアにおける油ヤシ農園生成・拡大の政治経済学	2010-2011	19					
相関型地域研究による総合的マツタケ (<i>Tricholoma spp.</i>) 学の創成	2012		13				
アブラヤシ農園拡大の政治経済学：東南アジアを超えて	2012		21				
アフリカにおける人為植生の成立要因と歴史の変遷に関する地域間比較研究	2012		16				
アジアの大河流域における地域形成が流域ガバナンスに及ぼす影響	2012		4				
〈宗教〉からみた地域像 **	2010-2012	11	16				
聖なるもののマッピング	2010-2011	11					
功德の観念と積徳行に関する地域間比較研究	2011-2012	11	11				
癒し空間の総合的研究：聖空間としての延喜式内社とアジアの聖地の比較研究	2011-2012	12	12				
異宗教・異民族間コミュニケーションにおける共生の枠組と地域の複相性に関する比較研究	2012		12				
ポストグローバル化期における国家社会関係 **	2013-2015			3	4	4	
ポスト・グローバル化期の教育に関する国際比較：新自由主義、子どもの権利、国家の役割の再編	2013-2014			13	13		
地域内多様性と地域間共通性の比較政治経済分析：ポスト社会主義国を軸として	2013-2014			7	7		
中東とラテンアメリカにおける体制転換の比較研究	2013-2014			13	13		
ユーロ危機下における南欧諸国のガバナンス変容：東欧諸国との地域間比較の視点から	2013-2014			12	12		
ネオリベラリズム以後の新興民主主義国の多様性：ポスト社会主義国を軸として	2015					7	
体制転換における軍と政党：中東とラテンアメリカの比較研究	2015					13	
中央アジアの社会主義的近代化と現在：イスラームとジェンダーの観点から	2015					6	
地域環境とグローバルな持続可能性への挑戦 **	2013-2015			5	6	9	
熱帯森林利用のローカル・ガバナンスの可能性に関する地域間比較研究	2013-2014			12	14		
アフリカにおける地域植生と植物利用の持続可能性	2013-2014			18	17		
現代アフリカ社会における植物利用の持続可能性と地域植生の管理	2015					19	

熱帯森林 - 都市関係の社会生態学的比較研究	2015				16	
宗教実践の時空間と地域 **	2013-2015			18	18	18
移動と宗教実践：地域社会の動態に関する比較研究	2013-2014			8	8	
「功德」をめぐる宗教実践と社会文化動態に関する比較研究：東アジア・大陸東南アジア地域を対象として	2013-2014			15	15	
南欧カトリシズムの変容と福祉ビジネスの展開に関する地域間比較	2013-2014			7	9	
宗教実践における声と文字：東南アジア地域からの展望	2013-2014			14	14	
仏教をめぐる日本と東南アジア地域：断絶と連鎖の総合的研究	2015					11
秩序再編の地域連関 **	2016-2018					3
低成長期の発展途上諸国における政治経済社会変動の地域間比較研究	2016					7
地域情報学の展開 *	2013-2015			3	3	3
地域情報学の展開 **	2010-2012	15	17			
沖縄におけるマラリア対策資料の医療情報学および地域情報学的分析	2010-2011	7				
HGIS の利用と動向に関する研究	2010-2011	14				
地域研究資料の連関、組織化と利用に関する研究	2010-2011	8				
東南アジア地域の古文書を対象とした汎用的データベース公開システムの検討	2010-2011	7				
分野融合型集落定点調査情報の時空間データベースの構築と共有に関する研究	2010-2011	6				
地域表象情報学の試み：写真は地域の何を私たちに語りかけるのか？	2012		9			
HGIS の展開に関する研究	2012		9			
CIAS 所蔵資料の活用 **	2010-2012	5	6			
近代アジアにおける植民地都市と商業・金融・情報ネットワーク：イギリス帝国を中心に	2010					
トルキスタン集成のデータベース化とその現代的活用の諸相	2010-2012	13				
脱植民地化期の東南アジアにおけるムスリム社会の動態	2010-2012	4				
帝政ロシアの植民地的「知」の中の中央アジア：「トルキスタン集成」データベースの検索機能の高度化を通じて	2012		11			
「混成アジア映画」に見る世界：一潮流としてのマレーシアを中心に	2012		12			
島嶼部東南アジアにおける国民国家形成とマレー・ムスリムのネットワーク	2012		8			
時間・空間・語彙の地域情報学 **	2013-2015			16	15	15
地域に関する時空間基盤情報の収集・蓄積	2013-2014			10	10	
地域研究データにおけるトピックの検出と時空間変化に関する研究	2013-2014			11	11	
学術論文のマッピング・システムを通じた地域情報の統合と共有化	2013-2014			5	5	
フィールドノートを対象としたテキストマイニングに関する研究	2015					11
地域研究における時空間情報の実践的活用	2015					10
非文字資料の共有化と研究利用 **	2013-2015			14	14	18
写真雑誌に見る第二次世界大戦期の記憶とジェンダー・エスニシティの表象分析	2013-2014			5	8	
20 世紀前半のサハリン島に関する歴史的記憶	2013-2014			6	5	
集合的記憶と中東欧地域の音楽：比較研究に向けてのデータベース構築	2013-2014			9	10	
CIAS 所蔵資料の活用 **	2013-2015			6	5	8
書誌情報データベースの地域情報学の新展開を探る	2013-2014			6	6	
『乾隆京城全図』と空間画像史料を用いた「華北・北京歴史データベース」の構築	2013-2014			3	3	
映画に見る現代アジア社会の課題	2013-2014			7	7	
脱植民地化期の東南アジア・ムスリムの自画像と他者像	2013-2014			9	8	
1950・60 年代の東南アジア・ムスリムの社会史	2015					9
「地域の知」の創生と再生 **	2016-2018					6
日本近現代文学における空間情報のデータベース構築および可視化	2016					5
音楽文化の伝播の解明を目的とした中国地方・九州地方における日本民謡の計量的分析	2016					8
フィールドノートにおける場面特徴の表現手法の深化と利活用に関する研究	2016					10
強くしなやかな社会をめざして *	2013-2015			6	6	5
災害対応の地域研究 **	2011-2013	0	0			
3・11 被災後のディアスポラ・コミュニティにおけるコミュニケーションの総合的研究	2011-2013	6	7			
災害・紛争と復興 **	2013-2015			3	3	3
「小さな災害」アプローチによる紛争・災害に強い社会づくり：災害地域情報マッピングシステムを活用した社会問題の早期発見・早期対応	2013-2014			8	8	
社会紛争の総合分析に基づく解決・予防の研究：ラテンアメリカの事例から	2013-2014			5	5	
ラテンアメリカにおける社会紛争：発生・終結プロセスの比較研究	2015					6
記録・記憶と社会の再生 **	2013-2015			2	2	2
災厄からの再生のための記録と記憶の〈場〉：災害・紛争後の記憶をつなぐ実践・支援とその可能性	2013-2014			5	5	

建築を通したポピュラー文化の記憶の場の構築力の解明	2013-2014			6	6		
メディアの記憶をめぐるウチとソト：多声化社会におけるつながりと疎外の動態	2014-2015				11	10	
危機からの社会再生における情報源としての映像作品：東南アジアを事例として	2015					8	
地域の集会的記憶の再編を支援する「メモリーハンティング」の展開と防災・ツーリズムへの活用	2015					5	
災いへの社会的対応 **	2016-2018						2
東南アジアのイスラムをめぐる社会的亀裂とその対応	2016						10
災害対応の実践の場としてとらえる映像作品：東南アジアを事例として	2016						9
地域研究方法論 **	2010-2012	6	4				
『仮想地球』モデルをもちいたグローバル／ローカル地域認識の接合	2010						
ヒューマン・パワー時代の外交・安全保障の現場と地域研究	2010-2011	5					
災害対応と情報：人道支援・防災研究・地域研究の連携を求めて	2010-2011	5					
『仮想地球』モデルをもちいたグローバル／ローカル地域認識の展開	2011	8					
地域研究における情報資源の共有化とネットワーク形成による異分野融合型方法論の構築	2011-2012	20	20				
紛争・災害後社会のメディアと記憶	2012		8				
地域研究方法論 **	2013-2015			4	4	4	
アジアと日本を結ぶ実践型地域研究	2013-2014			5	5		
物語を基にしたコミュニティづくりを目指す地域研究	2013-2014			3	7		
官公庁や民間企業やマスコミと接合される地域研究の方法論の検討	2013-2014			8	8		
ユニット数	33	28	39	40	25	9	
延べ人数	303	279	313	333	223	60	

セル内の数字は所属研究員数

2. 出版物

センター内出版物	
CIAS 叢書サブシリーズ《災害対応の地域研究》	出版年
4 川喜田敦子・西芳実編『歴史としてのレジリエンス：戦争・独立・災害』（京都大学学術出版会）	2016
5 清水展・木村周平編著『新しい人間、新しい社会：復興の物語を再創造する』（京都大学学術出版会）	2015

CIAS 叢書サブシリーズ《関連地域研究》	出版年
2 村上勇介・帯谷知可編著『融解と再創造の世界秩序』（青弓社）	2016
3 谷川竜一・原正一郎・林行夫・柳澤雅之編著『衝突と変奏のジャスティス』（青弓社）	2016

CIAS 叢書サブシリーズ《情報とフィールド科学》	出版年
2 谷川竜一著『灯台から考える海の近代』（京都大学学術出版会）	2016
3 山本博之著『雑誌から見る社会』（京都大学学術出版会）	2016
4 西芳実著『被災地に寄り添う社会調査』（京都大学学術出版会）	2016

雑誌『地域研究』	出版年
16 巻 1 号 [総特集] ロシアとヨーロッパの狭間：ウクライナ問題と地域史から考える	2015
16 巻 2 号 [総特集] 中口の台頭と欧米覇権の将来	2016

CIAS Discussion Paper Series	出版年
No. 55 山本博之・西芳実・篠崎香織編『2004 年スマトラ沖地震・津波復興史 II』	2015
No. 56 福田宏・柳澤雅之編『せめぎあう眼差し：関連する地域を読み解く』	2016
No. 57 村上勇介編『BRICs 諸国のいま：2010 年代世界の位相』	2016
No. 58 Takashi Tanaka <i>EVALUACIÓN HISTÓRICA DE LAS RELACIONES ECONÓMICAS JAPÓN-CUBA</i> .	2016
No. 59 竹内潔・阿部健一・柳澤雅之編『森をめぐるコンソナンスとディソナンス：熱帯雨林帯地域社会の比較研究』	2016
No. 60 山本博之・篠崎香織編著『たたかうヒロイン：混成アジア映画研究 2015』	2016

No. 61 アンンドレア・ユリ・フロレス・ウルシマ／ハケル・アビサツマラ／ムリロ・ジャルデリノ・ダ コスタ編『都市の近代化と現代文化：ブラジル・日本の対話から』	2016
No. 62 坪井祐司・山本博之編著『『カラム』の時代 VII：コラム「千一問」にみるマレー・ムスリム の宗教実践』	2016
No. 63 Chika Obiya, ed. <i>Islam and Gender in Central Asia: Soviet Modernization and Today's Society.</i>	2016
No. 64 アンンドレア・ユリ・フロレス・ウルシマ／荒川幸祐／王柳蘭編著『アフロ・ブラジル文化のカ ポエイラ・アンゴラ：対話する身体がつなぐ世界』	2016
No. 65 Brulio Serna Hidalgo. <i>HONDURAS: POLÍTICAS DE AJUSTE, INEQUIDAD Y CRECIMIENTO 1980- 2013.</i>	2016
No. 66 王柳蘭編『声を繋ぎ、掘り起こす：多声化社会の葛藤とメディア』	2016

JCAS Collaboration Series	出版年
No. 12 西芳実・篠崎香織編『緊急研究集会報告書 東南アジアの移民・難民問題を考える：地域研究 の視点から』	2015
No. 13 黒木英充・塩谷昌史・柳澤雅之編『JCAS 公開シンポジウム報告書 境界・境域への挑戦と「地域」』	2016

センター・スタッフの刊行物	出版年
貴志俊彦著『増補改訂 戦争・ラジオ・記憶』（吉川弘文館）	2015
関野樹監修、原正一郎・貴志俊彦・柴山守・村上勇介・山本博之・谷川竜一他共著『フィールドから考 える地球の未来（地球研叢書）』（昭和堂）	2016
Andrea Yuri Flores Urushima, Raquel Abi-Samara, Murilo Jardelino da Costa, eds. <i>Modernização urbana e cultura contemporânea: diálogos Brasil-Japão.</i> São Paulo: Terracota Editora.	2015

3. データベース (<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp/database/>)

1	アチェ津波モバイル博物館システム
2	アチェ津波モバイル博物館（スマホ版）
3	アチェ津波被災地メモリーハンティング
4	2004 年スマトラ沖地震・津波関連記事データベース
5	2004 年スマトラ沖地震・津波画像データベース
6	アチェ津波アーカイブ（可視化型データベース）
7	災害と社会 情報マッピング・システム
8	2009 年西スマトラ地震関連記事データベース
9	バンダアチェ今昔写真集メモリーハンティング
10	アチェ津波アーカイブ（スマホ版）
11	神戸被災地メモリーハンティング
12	ポスト社会主義諸国選挙・政党データベース
13	センデロ・ルミノソ・マッピング
14	大陸部東南アジア仏教徒社会の時空間マッピング・データベース
15	寺院マッピング
16	チエノワイカル
17	「トルキスタン集成」データベース
18	『ワクトゥ』雑誌記事データベース
19	『カラム』雑誌記事データベース
20	タイ映像資料データベース
21	タイ語三印法典（王立研究所版）
22	タイ語三印法典（タマサート大学版）
23	貝葉文書
24	東北タイ南部貝葉データベース
25	「英国議会資料」図版データベース
26	フィールドノート・データベース
27	道は、ひらける：石井米雄と東南アジア研究（石井米雄コレクション）
28	布野修司・世界建築データベース
29	インド（タミル）映画データベース
30	タイ映画データベース
31	マレーシア映画データベース
32	満洲国ポスターデータベース
33	戦前期東アジア絵はがきデータベース
34	アジア都市環境文化資源データベース
35	柏原英一（1914-2009）写真帳
36	『亜東印画輯』データベース
37	『北支』データベース
38	『亜細亜大観』データベース
39	『北京特別市公署市政公報』目次検索データベース（1938-1944）
40	上海租界工部局警務処文書件名索引データベース（1894-1949）
41	スタンフォード大学フーヴァー研究所中国関係アーカイブ件名索引データベース
42	モンゴル（人民共和）国科学アカデミー刊行人文社会系学術定期刊行物記事索引データベース
43	My データベースサービスおよび REST 型 API
44	地域研究資源共有化データベース

45	地域研究資源共有化データベース：多言語対応試行版
46	GIS システムをベースとした多機能連携型データベース作成ツール：HuMap
47	年表重ね合わせ分析ツール：HuTime
48	デジタル歴史地名辞書
49	暦日テーブル
50	地図データベース（試行版）
51	日本図書館協会基本件名標目表トピックマップ
52	国立国会図書館件名標目表トピックマップ：基本件名標目表トピックマップ
53	AGROVOC トピックマップ
54	HRAF トピックマップ
55	「花より男子」トピックマップ（マンガ TOPICMAPS）
56	北タイ古文獻（貝葉資料）にみる民族間関係
57	Mapping Practice of Theravadins
58	アチェ津波被災者証言データベース

4. 研究資料の所蔵（2016 年 3 月末現在、登録済のみ）

4-1. 図書点数・内訳（BPP も含む）

- ・図書 総冊数（所蔵 ID 数）57,169 点（うち和書 7,432、洋書 49,737）（マイクロフィルム約 5,200 リール、マイクロフィッシュ約 20,000 枚を含む）
- ・雑誌 総タイトル数 1,406 点（うち和雑誌 557、洋雑誌 849）
- ・映像資料 約 2,000 点
- ・光・磁気媒体資料 約 600 点

4-2. 京セラ文庫「英国議会資料（BPP）」

- ・下院文書（1801～1986 年）・上院文書（1801～1922 年） 計 12,832 冊（欠本率 0.03%）
- ・ウェブ版 House of Commons Parliamentary Papers（下院文書：18 世紀～現在）

4-3. 地図

- ・国別地図（記載のないものは 20 万分の 1） 計 3,234 枚

ロシア（50 万分の 1）	605 枚
カザフスタン	585 枚
アフガニスタン（10 万分の 1）	389 枚
サウジアラビア	325 枚
イラン	277 枚
ラオス（10 万分の 1）	174 枚
トルコ	164 枚
アフガニスタン	123 枚
ウズベキスタン	111 枚
トルクメニスタン	106 枚
イラク	88 枚

クルグス	53 枚
シリア	46 枚
タジキスタン	44 枚
オマーン	39 枚
ヨルダン	25 枚
イエメン	25 枚
アラブ首長国連邦	24 枚
イスラエル	12 枚
クウェート	7 枚
カタール	6 枚
レバノン	6 枚

5. シンポジウム・研究集会・ワークショップ

タイトル	開催日時	開催場所
上映・講演会「多色字幕による多言語映画の表現」	2015 年 4 月 13-15 日	シネマート六本木
共同研究ワークショップ「せめぎあう眼差し：相関する地域を読み解く」	2015 年 4 月 25 日	京都大学稲盛財団記念館
ポール・パークレー×中山大将 ジョイント・ワークショップ 2015	2015 年 5 月 28 日	京都大学稲盛財団記念館
現代コロンビアに関するセミナー／研究会	2015 年 6 月 1 日	京都大学稲盛財団記念館
シンポジウム「ポストネオリベラル期のラテンアメリカ政治：現状と課題」	2015 年 6 月 22 日	上智大学中央図書館
第 1 回日伯文化環境研究会	2015 年 7 月 8 日	京都大学稲盛財団記念館
東南アジアの移民・難民に関する緊急研究集会	2015 年 7 月 19 日	東京大学山手上会館大会議室
国際学術討論会「東亜の歴史、現在と未来：文化交流と相互認識 東亜学術論壇 2015」	2015 年 8 月 25 日	中国哈爾濱師範大学
日本デジタル・ヒューマニティーズ学会 2015「文化資源をエンコードする」	2015 年 9 月 1-3 日	京都大学人文科学研究所
Public Symposium "Media Cultures of Wartime and Postwar East Asia"	2015 年 9 月 15 日	Georgetown University, Intercultural Center (ICC)
Gaia Caramellino × 谷川竜一 ジョイント・セミナー 2015	2015 年 9 月 17 日	京都大学稲盛財団記念館
九州シネアドボ・ワークショップ「変身するインドネシア：力と技と夢の女戦士たち」	2015 年 9 月 20 日	キャナルシティ博多ビジ ネスセンタービル
日本学術会議公開シンポジウム「亀裂の走る世界の中で：地域研究からの問い」	2015 年 10 月 3 日	早稲田大学大隈小講堂
シンポジウム「BRICs 諸国のいま：2010 年代世界の位相」	2015 年 10 月 10 日	あすか会議室日本橋会議室
JCAS 年次集会一般公開シンポジウム「境界領域への挑戦と『地域』」	2015 年 11 月 1 日	東京外国語大学アジア・ アフリカ言語文化研究所
シンポジウム「近代建築史の最先端」第 11 回「東アジア近代建築史研究の回顧と展望：『東アジアの近代建築』から 30 年」	2015 年 11 月 29 日	建築会館
International Workshop "Toward Building Regional Platform for Disaster Risk Reduction in Asia"	2015 年 12 月 15-16 日	京都大学稲盛財団記念館
華北交通写真第 2 回協議会	2015 年 12 月 20 日	京都大学稲盛財団記念館
International Workshop "Islam and Gender in Central Asia: Soviet Modernization and Today's Society"	2015 年 12 月 26 日	京都大学稲盛財団記念館
現代アルゼンチンに関するワークショップ／研究会	2016 年 1 月 23 日	京都大学稲盛財団記念館
東アジア若手人文社会科学研究者ワークショップ（2015 年度京都大学南京 大学社会学人類学若手ワークショップ）	2016 年 2 月 3-4 日	京都大学稲盛財団記念館
International Workshop "Toward Social History of Malay Muslims: Islamic Principles and Local Practices from the Perspective of Majalah Qalam (1951-1969)"	2016 年 2 月 22 日	Sanggar Za'ba, Level 1, Dewan Bahasa dan Pustaka, Kuala Lumpur, Malaysia
東亜学術論壇 2016：交錯する東アジア像	2016 年 2 月 23 日	石川県政記念しいのき迎賓館
International Symposium "Illegal Timber of the Global East: A Dialogue between the Private Sector, Civil Society Organizations and Academia"	2016 年 2 月 29 日	京都大学稲盛財団記念館

International Conference-Workshop "Toward Building a Regional Platform for Disaster Risk Reduction in Asia"	2016 年 3 月 2-3 日	ノボテル・マニラ・アラ ネタセンター・ホテル (2 日)、アテネオ・デ・マ ニラ大学 (3 日)
International Workshop "Mapping Practices of Theravadin in Mainland Southeast Asia"	2016 年 3 月 3-4 日	カンボジア王立芸術大学 講堂
現代グアテマラに関するセミナー／研究会	2016 年 3 月 5 日	京都大学稲盛財団記念館
大阪アジア映画祭連携シンポジウム「“手に職系”女子とフォーエバー・ボギー」	2016 年 3 月 11 日	国立国際美術館講堂
International Symposium "Buddhism and Contemporary Living Environment over Asia"	2016 年 3 月 12 日	京都大学稲盛財団記念館
シンポジウム「誤差か、発見の糸口か? : 情報学的分析結果を学際的に評価する」	2016 年 3 月 25 日	東京大学史料編纂所

6. 国際交流

6-1. 学術交流協定

国際森林研究センター	インドネシア	2007 年 2 月
ラオス国立大学	ラオス	2007 年 3 月
台湾中央研究院人文社会科学研究中心アジア太平洋地域研究センター	台湾	2007 年 6 月
スルタン・アグン・ティルタヤサ大学	インドネシア	2007 年 10 月
トリブバン大学ネパール・アジア研究所	ネパール	2008 年 9 月
トロペンボス・インターナショナル	オランダ	2009 年 1 月
ペルー問題研究所	ペルー	2010 年 2 月
カンボジア王立芸術大学	カンボジア	2010 年 12 月
カンボジア王立農業大学	カンボジア	2010 年 12 月
コンケン大学看護学部	タイ	2011 年 3 月
ブータン王立大学シェルブツェ・コレッジ	ブータン	2011 年 6 月
チュラーロンコーン大学社会調査研究所	タイ	2011 年 3 月
シアクアラ大学津波防災研究センター	インドネシア	2011 年 12 月
リアウ大学	インドネシア	2012 年 6 月
世界の森林、社会と環境に関する IUFRO 特別プロジェクト	フィンランド	2013 年 1 月
クラシカ・メディア	マレーシア	2013 年 10 月
ペルーアマゾン研究所	ペルー	2013 年 12 月
コタブク	マレーシア	2014 年 7 月
レスター大学地理学部	英国	2014 年 10 月
シラパコーン大学大学院	タイ	2015 年 1 月
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	英国	2015 年 7 月
アゼルバイジャン外交アカデミー大学公共学国際学院	アゼルバイジャン	2015 年 11 月
マハーチュラーロンコーン仏教大学仏教研究所	タイ	2016 年 3 月
プノンペン王立大学	カンボジア	2016 年 5 月

6-2. 外国人客員研究員

Gaia Caramellino

イタリア

2015/8/1 ~ 10/31

7. 外部資金（科学研究費補助金等・2016年度）

中央アジアのイスラーム・ジェンダー・家族：「近代化」再考のための視座の構築	基盤研究（B）	帯谷 知可	2012-2015
東アジア域内 100 年間の紛争・協調の軌跡を非文字史料から読み解く	基盤研究（A）	貴志 俊彦	2013-2016
学術論文のマッピング・システムを通じた地域情報の統合と共有化	挑戦的萌芽研究	山本 博之	2013-2015
生活世界の変容とジェンダー：インド高齢女性のライフヒストリーを通して	基盤研究（B）	押川 文子	2013-2015
近代仏教建築の展開とアジア／亜細亜の形成・離散	基盤研究（C）	山田 協太	2013-2015
〈宗教＝社会複合マッピング〉からよむ大陸部東南アジア仏教徒社会の動態と変容	基盤研究（A）	林 行夫	2014-2017
インドネシアの災害後社会における生活再建と女性	基盤研究（B）	西 芳実	2014-2017
20 世紀北朝鮮の建築・都市通史の解明	基盤研究（B）	谷川 竜一	2014-2018
新自由主義改革後の中南米における社会紛争：事例の総合的調査研究	挑戦的萌芽研究	村上 勇介	2014-2015
「学校化」に向かう南アジア	研究成果公開促進費	押川 文子	2015
アジアの防災コミュニティ形成のための研究者・実務者・情報の統合型ネットワーク拠点	日本学術振興会研究拠点形成事業（Core to Core）	山本 博之	2015-2019
近現代東アジア境界地域の人の移動と農業拓殖の比較史：サハリン島と台湾島を中心に	京都大学若手研究者ステップアップ研究費	中山 大将	2015
「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築	基盤研究（A）	原 正一郎	2016-2019
ポスト新自由主義期中南米における民主主義的価値観に関する実証的比較研究	基盤研究（A）	村上 勇介	2016-2018
物語文化圏としての東南アジア：20 世紀前半の映画の製作・流通に見る越境性と混血性	基盤研究（B）	山本 博之	2016-2019
境界地域史への地域情報学活用：サハリン島ミクロ歴史情報データベースの構築と応用	挑戦的萌芽研究	中山 大将	2016-2018
情報抽出技術と LOD を用いた地域研究論文の構造化と分析	若手研究（B）	亀田 堯宙	2016

8. 受賞

科学研究費助成事業審査委員表彰	村上 勇介
日本農業史学会賞	中山 大将

9. スタッフ一覧（2016 年 9 月現在）

9-1. スタッフ

地域関連研究部門	教 授	Wil de Jong
	准教授	帯谷 知可
	准教授	村上 勇介
	助 教	中山 大将
情報資源研究部門	教 授	貴志 俊彦
	准教授	西 芳実
	准教授	山本 博之
地域情報学（高次情報処理）研究部門	教 授	林 行夫
	教 授	原 正一郎
	准教授	柳澤 雅之
	助 教	亀田 堯宙
特任教員／研究員	教 授	柴山 守
	助 教	山田 協太
名誉教授		田中 耕司
		押川 文子
国内客員研究部門		大矢根 淳（専修大学）
		松田 正己（東京家政学院大学）
		北本 朝展（国立情報学研究所）
		村上 薫（日本貿易振興機構アジア経済研究所）
研究員（科学研究）		Andrea Yuri Flores Urushima

9-2. スタッフ略歴

●地域関連研究部門

Wil de Jong (ウィル・デ・ヨン (教授))

1. 専門分野

Natural resource governance and policy, Community resource management, Forest transition

2. 経歴

- 1984-1985 Research Associate, National Institute for Agricultural Research, Peru
- 1985-1995 International Fellow and Research Associate, Institute of Economic Botany, New York Botanical Garden, USA
- 1995-2004 Scientist and Senior Scientist, Center for International Forestry Research, Bogor Indonesia
- 2004-2006 Professor, Center for Area Studies, National Museum of Ethnology, Japan
- 2006- Professor, Center for Integrated Area Studies, Kyoto University, Japan

3. 研究課題

(1) Area Environments and Global Sustainability Challenges

The world society faces dramatic natural resources and environmental global sustainability challenges that an area studies focus on environmental issues may help to overcome. An area environments studies approach can yield important knowledge that can contribute to the solution of global challenges.

(2) Community Resource Management

Communities are worldwide the de facto stewards of natural resources use and preservation. They are progressively engaged in wider sustainable resource use initiatives, but this engagement is often not well recognized because of inadequate understanding of local practices and economic, social and cultural realities.

4. 主要業績

- 2016 *Incentives and Constraints of Community and Smallholder Forestry*, Special Issue, *Forests* (http://www.mdpi.com/journal/forests/special_issues/community_smallholder) (coeditors: Pia Katila, Glenn Galloway, Pablo Pacheco).
- 2015 "Smallholders and Forest Landscape Transitions: Locally Devised Development Strategies of the Tropical Americas," *International Forestry Review* 16(7), pp.1-19 (<http://dx.doi.org/10.1505/146554815814668981>) (coauthor: Benno Pokorny).
- 2014 *Forests under Pressure: Local Responses to Global Issues*, IUFRO Special Project, *World Forest Society and Environment* (<http://www.iufro.org/science/special/wfse/forests-pressure-local-responses/>) (coeditors: Pia Katila, Glenn Galloway, Gerardo Mery, Pablo Pacheco).
- 2014 *Climate Change and Deforestation: The Evolution of an Intersecting Policy Domain*, Special Issue, *Environmental Science and Policy* 35 (coeditors: M. Buizer, David Humphreys).
- 2012 *Political Theory in Forest Policy Sciences*, Special Issue, *Forest Policy and Economics* 16 (DOI: 10.1016/j.forpol.2011.07.001) (coeditors: B. Arts, M. Krott).

帯谷 知可 (おびや ちか (准教授))

1. 専門分野

中央アジア地域研究、中央アジア近現代史

2. 経歴

- 1991年 東京大学教養学部助手
- 1994年 在ウズベキスタン共和国日本国大使館専門調査員
- 1996年 国立民族学博物館地域研究企画交流センター助手
- 2002年 同助教授
- 2006年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
- 2007年 同准教授

3. 研究課題

- (1) 中央アジア地域研究希少資料のデジタル化と有効利用の諸方策
- (2) 帝政ロシアの構築した中央アジアに関する植民地的知の諸相
- (3) ロシア革命期・ソ連期中央アジアの政治と社会
- (4) 現代中央アジア (特にウズベキスタン) のナショナリズム

4. 主要業績

- 2016 『融解と再創造の世界秩序』(相関地域研究2) 青弓社(村上勇介と共編)。
- 2016 「社会主義的近代とイスラームの交わる場所：ウズベキスタンのイスラーム・ヴェール問題からの眺め」村上勇介・帯谷知可編『融解と再創造の世界秩序』(相関地域研究2) 青土社、pp.161-183。
- 2016 "The Politics of the Veil in the Context of Uzbekistan," *Islam and Gender in Central Asia: Soviet Modernization and Today's Society* (Obiya, Chika, ed., CIAS Discussion Paper No. 63) CIAS, pp.7-18.
- 2011 『『フジュム』への視線：1920年代ソ連中央アジアにおける女性解放運動と現代』小長谷有紀ほか編『社会主義的近代化の経験：幸せの実現と疎外』明石書店、pp.98-122。
- 2005 「英雄の復活：現代ウズベキスタン・ナショナリズムのなかのティムール」酒井啓子ほか編『イスラーム地域の国家とナショナリズム』(イスラーム地域研究叢書5) 東京大学出版会、pp.185-212。

村上 勇介 (むらかみ ゆうすけ (准教授))

1. 専門分野

ラテンアメリカ地域研究、政治学

2. 経歴

- 1991年 在ベルー日本国大使館専門調査員
- 1995年 国立民族学博物館地域研究企画交流センター助手
- 2002年 同助教授
- 2006年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
- 2007年 同准教授

3. 研究課題

- (1) ラテンアメリカ政治研究
- (2) 政治体制比較研究

(3) ラテンアメリカの国際関係

4. 主要業績

- ・ 2012 *Perú en la era del Chino: la política no institucionalizada y el pueblo en busca de un Salvador* [フジモリ時代のペルー：制度化しない政治、救世主を求める人々], 2a. edición (Ideología y política 27), Lima: Instituto de Estudios Peruanos y Center for Integrated Area Studies, Kyoto University.
- ・ 2004 『フジモリ時代のペルー：救世主を求める人々、制度化しない政治』平凡社。
- ・ 2004 *Sueños distintos en un mismo lecho: una historia de desencuentros en las relaciones Perú-Japón durante la década de Fujimori* [同床異夢のペルー・日本関係：フジモリ期におけるすれ違いの軌跡] (Ideología y política 20), Instituto de Estudios Peruanos y Japan Center for Area Studies, National Museum of Ethnology.
- ・ 2000 *La democracia según C y D: un estudio de la conciencia y el comportamiento político de los sectores populares de Lima* [下層の人々が語る民主主義：リマ貧困層の政治意識と行動に関する一考察] (Urbanización, migraciones y cambios en la sociedad peruana 15), Instituto de Estudios Peruanos y Japan Center for Area Studies.
- ・ 1999 *El espejo del otro: el Japón ante la crisis de los rehenes en el Perú* [他者の鏡：在ペルー日本国大使公邸占拠事件と日本] (Ideología y política 12), Instituto de Estudios Peruanos y Japan Center for Area Studies.

中山 大将 (なかやま たいしょう (助教))

1. 専門分野

北東アジア地域研究、サハリン樺太史、農業社会史、移民史

2. 経歴

- 2010年4月 京都大学大学院文学研究科 GCOE 研究員
- 2012年4月 日本学術振興会特別研究員 PD (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター所属)
- 2015年4月 京都大学地域研究統合情報センター助教

3. 研究課題

- (1) サハリン島における移民社会の形成解体過程の研究
- (2) 近現代東アジア境界地域における移民社会の形成解体過程の比較史研究
- (3) 地域情報学の成果を活かした新しい歴史研究手法の模索

4. 主要業績

- ・ 2015 "Japanese Society on Karafuto," Svetlana Paichadze, Philip A. Seaton, eds., *Voices from the Shifting Russo-Japanese Border: Karafuto / Sakhalin*, Oxon: Routledge, pp.19-41.
- ・ 2014 『亜寒帯植民地樺太の移民社会形成：周縁的ナショナル・アイデンティティと植民地イデオロギー』京都大学学術出版会。
- ・ 2013 「サハリン残留日本人：樺太・サハリンからみる東アジアの国民帝国と国民国家そして家族」 蘭信三編『帝国以後の人の移動：ポストコロニアルとグローバリズムの交錯点』勉誠出版、pp.733-781。

●情報資源研究部門

貴志 俊彦 (きし としひこ (教授))

1. 専門分野

近現代東アジア史

2. 経歴

- 1993年 島根県立国際短期大学専任講師
- 2000年 島根県立大学総合政策学部 (専任講師→助教授→教授)
- 2007年 神奈川大学経営学部教授
- 2010年 京都大学地域研究統合情報センター教授

3. 研究課題

- (1) 東アジア通信・メディア研究
- (2) 非文字資料の共有化と研究利用
- (3) 東アジア域内交流史研究

4. 主要業績

- ・ 2015 『日中間海底ケーブルの戦後史：国交正常化と通信の再生』吉川弘文館。
- ・ 2013 『東アジア流行歌アワー：越境する音 交錯する音楽人』(岩波現代全書 15) 岩波書店。
- ・ 2012 『二〇世紀満洲歴史事典』吉川弘文館 (松重充浩ほかと編著)。
- ・ 2011 『アジアの自画像と他者：地域社会と「外国人」問題』京都大学学術出版会 (編著)。
- ・ 2010 『満洲国のビジュアル・メディア：ポスター・絵はがき・切手』吉川弘文館。

西 芳実 (にし よしみ (准教授))

1. 専門分野

インドネシア地域研究／アチェ近現代史

2. 経歴

- 2006年 東京大学大学院総合文化研究科特任助手
- 2007年 東京大学大学院総合文化研究科助教
- 2010年 立教大学 AIIC 助教
- 2011年 京都大学地域研究統合情報センター准教授

3. 研究課題

- (1) 多言語・多宗教地域の紛争・災害対応過程
- (2) 社会秩序の再編過程における外来者の役割
- (3) 国際協力事業分野における地域研究の知見の活用

4. 主要業績

- ・ 2016 『歴史としてのレジリエンス：戦争・独立・災害』(災害対応の地域研究 4) 京都大学学術出版会 (川喜田敦子との共編著)。
- ・ 2014 『災害復興で内戦を乗り越える：2004年スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』(災害対応の地域研究 2) 京都大学学術出版会。
- ・ 2013 「信仰と共生：バリ島爆発テロ事件以降のインドネシアの自画像」『地域研究』13巻2号 (地域研究コンソシアム)、pp.176-200。

- ・2012 「災害・紛争と地域研究：スマトラ沖地震・津波における現場で伝わる知」『地域研究』12巻2号（地域研究コンソーシアム）、pp.181-197。
- ・2011 "Among Bangsa, Keturunan, and Daerah: Peace-Building and Group Identity in the law on Governing Aceh, 2006," Hiroyuki Yamamoto, et al. eds., *Bangsa and Umma: Development of People-Grouping Concepts in Islamized Southeast Asia*, Kyoto University Press, pp.166-182.
- ・2010 「インドネシアのアチェ紛争とディアスポラ」首藤もと子編『東南・南アジアのディアスポラ』（叢書グローバル・ディアスポラ2）明石書店、pp.67-86。

山本 博之（やまもと ひろゆき（准教授））

1. 専門分野

マレーシア地域研究／現代史

2. 経歴

- 1998年 マレーシア・サバ大学講師
- 2001年 東京大学大学院総合文化研究科助手
- 2003年 在メダン総領事館委嘱調査員
- 2004年 国立民族学博物館地域研究企画交流センター助教授
- 2006年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
- 2007年 同准教授

3. 研究課題

- (1) イスラム教圏東南アジアにおける民族と混血概念
- (2) 災害対応と情報
- (3) 地域研究の方法論
- (4) 劇映画に見られる集合的記憶の形成・再編

4. 主要業績

- ・2014 『復興の文化空間学：ビッグデータと人道支援の時代』（災害対応の地域研究1）京都大学学術出版会。
- ・2011 *Film in Contemporary Southeast Asia: Cultural Interpretation and Social Intervention*, Routledge (coeditor: David Lim).
- ・2011 *Bangsa and Umma: Development of People grouping Concepts in Islamized Southeast Asia*, Kyoto University Press (coeditors: Anthony Milner, et al.).
- ・2006 『脱植民地化とナショナリズム：英領北ボルネオにおける民族形成』東京大学出版会。

●地域情報学（高次情報処理）研究部門

林 行夫（はやし ゆきお（教授））

1. 専門分野

東南アジア仏教徒社会の地域研究、文化人類学

2. 経歴

- 1988年 国立民族学博物館研究部助手
- 1993年 京都大学東南アジア研究センター（現東南アジア研究所）助教授
- 1996年 京都大学大学院人間・環境学研究科併任助教授
- 1998年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科併任助教授

- 2001年 京都大学博士（人間・環境学）
- 2002年 京都大学東南アジア研究所教授
- 2002年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科併任教授
- 2006年 京都大学地域研究統合情報センター教授

3. 研究課題

- (1) 大陸部東南アジア仏教徒社会の動態をめぐる地域間比較研究
- (2) 宗教活動と生活空間の編制に関する歴史・地域情報学的研究
- (3) 仏教実践をめぐる日本と東南アジア地域の交流と断絶

4. 主要業績

- ・2016 『仏教をめぐる日本と東南アジア地域』（アジア遊学196）勉誠出版（大澤広嗣編／共著）。
- ・2011 『新アジア仏教史4 スリランカ・東南アジア：静と動の仏教』佼成出版社（奈良康明ほか監修、編集協力／共著）。
- ・2009 『〈境域〉の実践宗教：大陸部東南アジア地域と宗教のトポロジー』京都大学学術出版会（編著）。
- ・2003 *Practical Buddhism among the Thai-Lao: Religion in the Making of Region*, Kyoto/ Melbourne: Kyoto University Press & Trans Pacific Press.
- ・2000 『ラオ人社会の宗教と文化変容：東北タイの地域・宗教社会誌』京都大学学術出版会。

原 正一郎（はら しょういちろう（教授））

1. 専門分野

情報学

2. 経歴

- 1989年 学術情報センター助手
- 1991年 国文学研究資料館助教授
- 2006年 京都大学地域研究統合情報センター教授

3. 研究課題

- (1) 地域情報学（Area Informatics）の創出
- (2) Humanities GISに関する研究
- (3) デジタルアーカイブに関する研究
- (4) 画像処理、古文書文字認識に関する研究
- (5) 医療情報学（地域看護における情報処理）に関する研究

4. 主要業績

- ・2012 『歴史GISの地平：景観・環境・地域構造の復原に向けて』HGIS研究協議会編（川口洋（代表）・石崎研二・後藤真・関野樹・原正一郎）、勉誠出版。
- ・2010 "Area Informatics: Concept and Status," Toru Ishida, ed., *Culture and Computing: Computing and Communication for Crosscultural Interaction* (Lecture Notes in Computer Science 6259), Springer, pp.214-288.
- ・2009 「地域研究のための資源共有化システムとメタデータに関する研究」『東南アジア研究』46巻4号、pp.608-645。
- ・2003 「健診情報ための電子的交換規約」『情報知識学会誌』12巻4号、pp.32-52（杉森裕樹ほかと共著）。

- ・2002 「国文学支援のための SGML/XML データシステム」『情報知識学会誌』11 巻 4 号、pp.17-35（安永尚志と共著）。
- ・1997 "Markup and Conversion of Japanese Classical Texts Using SGML in the National Institute of Japanese Literature," *D-lib Magazine*, July/ August 1997 (<http://www.dlib.org/dlib/july97/japan/07hara.html>) (coauthor: Hisashi Yasunaga).

on Information, Process, and Knowledge Management (coauthors: Kiyoko Uchiyama, Hideaki Takeda, Akiko Aizawa).

- ・2013 "Integrate Japanese Red List into LOD of Species," *PNC Annual Conference and Joint Meetings 2013* (coauthors: Fumihiro Kato, Utsugi Jinbo, Ikki Ohmukai, Hideaki Takeda).

柳澤 雅之（やなぎさわ まさゆき（准教授））

1. 専門分野

農業生態学、ベトナム地域研究、東南アジア生態史

2. 経歴

- 1999 年 京都大学東南アジア研究センター（現東南アジア研究所）助手
- 2006 年 同助教授
- 2006 年 京都大学地域研究統合情報センター助教授
- 2007 年 同准教授

3. 研究課題

- (1) ベトナム紅河デルタ村落研究
- (2) 東南アジアの土地利用変化に関する研究
- (3) 東南アジア生態史研究

4. 主要業績

- ・2016 「地域情報学の読み解き：発見のツールとしての時空間表示とテキスト分析」『地域研究』16 巻 2 号、pp.267-291（高田百合奈・山田太造と共著）。
- ・2012 「自然科学分野の地域研究：地域情報の限定性を克服するために」『地域研究』12 巻 2 号、pp.116-130。
- ・2009 「東南アジア生態史」東南アジア学会監修・東南アジア史学会 40 周年記念事業委員会編集『東南アジア史研究の展開』山川出版社、pp.156-171。
- ・2006 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・東南アジア研究所編『京大式フィールドワーク入門』NTT 出版。
- ・2004 "Development Process of Cash Crops in the Northern Mountains Region of Vietnam: A Case Study in Moc Chau District of Son la Province, Vietnam," in Hisao Furukawa, et al., eds., *Ecological Destruction, Health, and Development: Advancing Asian Paradigm*, Kyoto University Press, pp.467-479.

亀田 堯宙（かめだ あきひろ（助教））

1. 専門分野

情報学

2. 経歴

- 2013 年 情報・システム研究機構特任研究員
- 2014 年 京都大学地域研究統合情報センター助教

3. 研究課題

- (1) 学術資料、論文からの情報抽出とその構造化
- (2) 研究におけるデータベースの利活用支援

4. 主要業績

- ・2013 "Extraction of Semantic Relationships from Academic Papers Using Syntactic Patterns," *The Fifth International Conference*

●特任教員／研究員（特別教育研究・一般）

柴山 守（しばやま まもる（教授））

1. 専門分野

地域情報学

2. 経歴

- 1982 年 京都大学東南アジア研究センター助手
- 1988 年 大阪国際大学経営情報学部助教授
- 1993 年 同教授
- 1996 年 大阪市立大学学術情報総合センター教授
- 2003 年 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授
- 2003 年 京都大学東南アジア研究センター教授
- 2004 年 京都大学東南アジア研究所教授
- 2012 年 京都大学地域研究統合情報センター特任教授／研究員

3. 研究課題

- (1) 地域情報学の創出と Humanities GIS に関する研究
- (2) 東南アジア上座仏教徒社会における寺院マッピングと僧侶の移動履歴
- (3) 大陸部東南アジアの東西回廊とアジア文明に関する情報学的研究
- (4) ハノイ都市形成過程に関する情報学的研究

4. 主要業績

- ・2012 『地域情報マッピングからみる東南アジア：陸域・海域アジアを越えて地域全体像を解明する研究モデル』勉誠出版。
- ・2010 「時空間概念に基づく地域・歴史事象の写像と知識獲得：地域情報学の視点から見る歴史知識学」『人工知能学会誌』25 巻 1 号、pp.42-49。
- ・2009 『地域研究のための GIS』古今書院（水島司と共編著）。
- ・2009 「地域情報学：地域研究と情報学の新たな地平 序論」『東南アジア研究』46 巻 4 号、pp.481-491。
- ・1990 *The Computer Concordance to the Law of the Three Seals, Thailand*: Amarin Publications (coauthor: Yoneo Ishii, Aroonrut Wichenkeo).

山田 協太（やまだ きょうた（助教））

1. 専門分野

南アジアの地域居住環境形成史、地域居住環境デザイン

2. 経歴

- 2005 年 鳥取環境大学環境情報学部環境デザイン学科（助手→助教→講師）
- 2009 年 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科助

教
2015 年 京都大学地域研究統合情報センター特任助教／研究員

3. 研究課題

- (1) コロンボ（スリランカ）の下町における地域居住環境デザイン
- (2) 近代仏教建築の成立とアジアの都市景観／環ベンガル湾の人の移動と居住環境形成
- (3) 居住環境形成の地球史

4. 主要業績

- ・ 2014 『居住環境類型からメガシティのグローバルな連環と動態を捉える』総合地球環境学研究所・メガ都市プロジェクト（深見奈緒子、内山雄太と編著）。
- ・ 2013 「近代仏教建築の形成とアジア／亜細亜の形成・離散 その1：コロンボ（スリランカ）の近代仏教建築」『平成25年度日本建築学会大会学術講演梗概集（都市計画）』、pp.433-434。
- ・ 2012 "Dynamisms in the Hub City of Colombo and the Urban Networks around the Bay of Bengal from the Viewpoint of Daily Activities: The Locations of Religious Architecture from the 17th Century," Naoko Fukami, ed., *Islam and Multiculturalism: Between Norms and Forms* (Organization for Islamic Area Studies, Waseda University), pp.79-101.
- ・ 2005 「第IV章3 オランダ植民都市の転成 3-3 コーチン」布野修司編著『近代世界システムと植民都市』京都大学学術出版会、pp.464-482。

Visual Planning in Mid-twentieth Century in Japan," John Pendlebury, Erdem Erten, Peter Larkham, eds., *Alternative Visions of Postwar Reconstruction: Creating the Modern Townscape*, London: Routledge, pp.90-107.

- ・ 2012 "Réévaluation des modes de vie rural et citadin face à la dégradation de l'environnement: un débat national au Japon, 1967-1972," *Revue des Sciences Sociales* 47, pp.130-138.
- ・ 2011 "A arquitetura moderna latino-americana pelo olhar Japonês," *Desígnio - Revista de História da Arquitetura e do Urbanismo* 11 (12), pp.89-96.

●研究員（科学研究）

Andrea Yuri Flores Urushima

（アンドレア・ユリ・フロレス・ウルシマ（研究員））

1. 専門分野

建築・都市計画史論、地域空間論

2. 経歴

- | | |
|--------|---|
| 2000 年 | Laboratory of Metropolitan Urbanism FAUUSP サンパウロ大学大都市計画研究所研究員 |
| 2001 年 | Architecture and Urbanism Office, ARBRE 建築と都市計画事務所建築家 |
| 2009 年 | 京都大学地域研究統合情報センター研究員 |

3. 研究課題

- (1) 日本の近現代都市計画史
- (2) 都市化を通じた人間環境空間の変化
- (3) 空間モデルの世界各地域への伝播

4. 主要業績

- ・ 2015 *Modernização urbana e cultura contemporânea: diálogo Brasil-Japão*, São Paulo: Terracota (coeditors: Raquel Abi-Samara, Murilo J. da Costa).
- ・ 2015 "Territorial Prospective Visions for Japan's High Growth: The Role of Local urban Development," *Nature and Culture* 1 (1), pp.12-35.
- ・ 2014 "Unavoidable Modernization and the Image of Hell:

Fax : 075-753-9602

